

2014 年度活動概要

1. 概況

第2次安倍政権が打ち出した“アベノミクス”の大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略という3本の矢は、経済政策の方向を印象的に示し、今日までそれなりの成果を発揮してきたと言える。日本経済復活への足かがりをつかみつつある今、それを国民一人一人が実感できるものにするためにも、また我が国の抱える様々な課題を克服していくためにも、労使学が一致団結して弛まぬ生産性向上に取り組んでいくことが強く求められている。

こうした中、当本部は、公益財団法人の4年目にあたる2014年度の活動をスタートした。2014年度は、(1)未来を切り拓く生産性運動推進リーダーの育成、(2)労使の信頼と協力関係を基軸とした新たな国づくり、活力ある組織づくり、(3)経営品質向上活動の推進と経営革新支援、(4)モノづくり革新支援とモノづくり人材の育成、(5)これら4つの活動の柱を支える当本部の基盤の充実と全国の生産性本部との緊密な連携活動推進の5つを事業の柱として、経営革新、モノづくり革新、ユニオン・イノベーション、雇用開発・労使関係、人材開発、個別組織支援、会員交流の分野で131の事業を実施した。それらすべての活動を「生産性向上に関する関西 No.1 の交流拠点～人と情報が行き交う場～」として位置づけ、「世界に輝く KANSAI」の実現を目指して、労使学を取り巻く環境変化に対応した、活発な事業活動を展開した。

2. 会員数の推移

2014年度は、入会18組織、退会14組織で4組織増え、4年ぶりに賛助会員が増加し、会員数は695組織となった。

入会18の内訳は、企業6、労働組合2、大学1、個人・団体9である。退会14の内訳は、企業9、労働組合5であったが、このうち2組織が休会会員からの退会分であった。なお、休会会員からの復会は4組織であった。退会の理由は、経費節減、当本部事業の利用がない、組織合併、東京シフトなどである。

年度	入会	退会	増減	会員数(組織数)	会費収入(千円)
2010年度	30	24	+6	764	138,335
2011年度	19	22	-3	761	136,384
2012年度	20	66	-46	714	133,090
2013年度	17	40	-23	691	128,717
2014年度	18	14	+4	695	126,715

3. 事業の状況

(1) 参加組織数

2013年度までは“延べ参加者数”を当本部の評価指標の一つとしてきたが、賛助会員組織や非会員組織の当本部事業参加度合いを見るため、2014年度から評価指標を“有料事業参加組織数”に変更する。

2014年度の1年間の有料事業参加組織数は、賛助会員387組織、非会員687組織であった。ちなみに2013年度の有料事業参加組織数は、賛助会員408組織、非会員569組織で、2014年度は前年比で賛助会員5.1%減、非会員20.7%増であった。

	2011年度	2012年度	2013年度	2013年度	2014年度	前年比(%)
～13年度 延参加者数	21,777	19,526	21,123	会員 408	会員 387	-5.1%
13年度～有料事業参加組織数				非会員 569	非会員 687	+20.7%
事業収入(千円)	387,207	346,901	371,556	371,556	330,201	-11.1%

※事業参加者延人数は 参加人数×実施日数、診断指導・受託教育・出前教育は件数で算定。(全国大会含む)

(2) 事業分野別概要

①経営革新事業

「中堅企業経営委員会」は、10月と2月の委員会にて、所管の「KPC中堅企業「経営塾」や「中堅企業研究会」などについて審議するとともに、中堅企業を取り巻く経済環境や経営課題などについて活発に意見交換した。さらに、11月6日から2日間、13名の委員が参加し富山視察旅行を開催し、朝日印刷㈱、武内プレス工業㈱、㈱スギノマシンなどを訪問した。

a. 経営品質向上（関西経営品質協議会）

創設11年目を迎えた「関西経営品質賞」は、6組織の申請があった。審査員による個別審査、合議審査、現地審査を経て、判定委員会、そして1月の関西経営品質賞委員会で、関西経営品質賞優秀賞を㈱神戸ポートピアホテル、浜理薬品工業㈱、レッキス工業㈱に、奨励賞を平安キャノン事務機㈱にそれぞれ授与することを決定した。2013年度の関西経営品質賞の報告会を兼ねた「経営イノベーション・フォーラム2014」には118名が参加し、優秀賞を受賞した㈱京進の白川代表取締役社長とノア・インドアステージ㈱の大西代表取締役社長がトップ講演をし、2009年度関西経営品質賞奨励賞、2013年度日本経営品質賞 大規模部門を受賞した滋賀ダイハツ販売㈱の後藤代表取締役社長が「『五幸』を実現する組織づくりー日本経営品質賞受賞への道ー」と題しゲスト講演をした。

b. ものづくり革新事業（関西IE協会）

7月9日からの3日間、京都で「第55回全国IE年次大会」を盛会裏に開催した。全国のモノづくり関係者583名が参加、「未来へつなぐモノづくり」～モノづくりの可能性と展望を探る～をテーマに、全体会議と4つの分科会にて事例研究を行った。3日目は10コースに分かれて現場見学会を行い、また「『からくり改善®』優秀作品展」、「モノづくりツール展」も併せて開催した。

創設55周年記念事業としてスタートした4回目の「関西5S大会」は2月18日に123名の参加を得て開催、併せて2月19日、25日には5S実践現場の見学を行った。

また、香港生産力促進局からの依頼で10月と12月の2回にわたって「クイック・レスポンス・マニファクチュアリング調査団」の受け入れを行った。

②ユニオン・イノベーション事業

「労働政策委員会」は、6月と2月の2回の委員会にて、所管事業について審議するとともに、6月は労働トップフォーラムのゲスト講師のコマツ・日置顧問を囲み、「労働組合とリーダーに必要な情熱・挑戦」についての問題提起を受け意見交換をした。

関西2府4県の連合と共催の「労働トップフォーラム」は25回目を迎え、6月7日、373名の労組リーダーが結集し、「働くことを軸とする安心社会に向けて～労働組合とリーダーの情熱・挑戦～」をテーマに熱心に討議した。

これまで毎年実施してきた「ユニオン・イノベーション・リーダー養成プログラム」については、労働政策委員会での議論を踏まえ、専門委員会にて抜本的な改編へ向けて活動した。

③雇用開発・労使関係事業

「労使関係委員会」は、4回の委員会にて所管事業について審議するとともに、9月には「女性躍進・高齢化対応」をテーマに大阪ガス㈱泉北製造所を訪問、見学した。

「第 42 回西日本生産性会議」は 7 月 24 日・25 日に福岡で開催した。西日本各地から労使 636 名が集い、「今こそ活かせ「日本力」～ゆるぎない成長を目指す労使の挑戦～」をテーマに議論した。

春闘前に労使交渉に関する諸情報を提供する「関西労使政策フォーラム」は、関西経済連合会との共催で、1 月 22 日・23 日・30 日の 3 日間、「“日本再興”に向けた政労使の成長戦略を考える」をテーマに 201 名の参加を得て開催した。

④人材開発事業

「人材開発委員会」は、10 月と 2 月の委員会にて、所管の人材育成事業について活発に意見交換するとともに、前尼崎市長でグンゼ・白井取締役から女性市長としての 8 年間の経験を踏まえた話題提供や関西大学の前田副学長からの「アジア・グローバル人材教育調査団」の報告を受けて議論を深めた。また、特別委員会を 2 回開催するなど、委員間の交流を深めた。

「第 36 期経営幹部交流セミナー」は、㈱三井住友銀行の蔭山代表取締役副頭取を団長に、「ダイバーシティを意識した企業経営とその中でのリーダーシップについて」をテーマに、24 名の経営幹部が国内研修を進め欧州とアジアでの海外研修を行い大きな成果を収めた。

「KPC マネジメントスクール」は、経営戦略、経営人事イノベーション、マーケティング、技術・イノベーションマネジメントの 4 コースに 39 名が参加、7 月から 12 月まで 5 ヶ月間にわたって理論と実務両面から仮説検証型の実践的な研修を行ない、研究成果をそれぞれの組織に持ち帰った。

アジアでの競争に打ち勝つ若手ビジネスリーダーの育成を狙いとした「第 12 回アジア・ビジネススクール」は、30 名の若手ビジネスパーソンが 8 月末の国内合宿研修で策定したタイ・バンコクでの新規事業計画の実現可能性を 9 月に 1 週間現地バンコクで探った。

「第 24 期 KPC 中堅企業「経営塾」」は、中堅企業経営委員会の白石委員(シプロ化成㈱ 代表取締役社長)を塾長に、14 名の経営幹部候補生が自社の経営課題を持ち寄り 13 日間にわたってこれからの経営革新、それをリードする自己改革について相互研鑽を行った。

3 年目を迎えた「関西キャリア教育支援協議会」は、関係 5 団体と共催で、大阪府・大阪市教育委員会と連携しながら、学校現場への出前授業、教員研修会への社会人講師の派遣、職業体験など多彩な活動を展開した。

大学経営・教育改革についても、関西大学の前田副学長を団長に産学 12 名のメンバーの「アジア・グローバル人材教育調査団」を 8 月末にマレーシア、タイ、インドに派遣し、現地の大学におけるグローバル人材育成に関する取り組みや現地企業、日系進出企業が求める人材像などについて調査し、“アスピレーション(学びへの強い意欲・意志)を高める高等教育と異文化環境の提供”が求められるとの提言を発表した。さらに、関西の主要大学 15 大学が参加して「大学経営の改革のための出発点である戦略の策定と展開について」をテーマに「学校経営・イノベーション研究会」を開催した。

⑤診断指導事業

経営診断・指導は 4 組織、企業内教育訓練受託は 23 組織、経営品質向上支援助託件数は 4 組織、労働組合受託研修は 5 組織あった。人事制度や評価制度の改定支援、ロジカルスキル開発研修、階層別研修、マーケティング研修、コンプライアンス研修、労働組合の次世代リーダーや職場リーダー養成研修などのニーズが高かった。

⑥会員交流・広報事業

これからの生産性運動の方向を考えるとともに会員相互の交流を図る「関西生産性大会 2014」は、4 月 11 日に 302 名の会員が集い盛大に開催し、併せて 2013 年度関西経営品質賞の表彰式も行い参加者全員で受賞企業をお祝いした。

「21 世紀全国生産性フォーラム」は、「「パワーアップ JAPAN」～新たな成長のシナリオを描

く～」をテーマに、11月東京に全国から209名の生産性運動の推進者が集った。

関西学院大学で4月から15回にわたり、さらに大阪市立大学で10月から13回にわたり、「生産性講座」をそれぞれ開講した。講師は、両大学の教員の他、当本部の役員、委員、職員がつとめ、生産性運動の理論と実践について計236名の商学部、経済学部生が学んだ。

4. 運営

公益財団法人として4年目の「理事会」、「評議員会」を6月にそれぞれ、また3月には合同で開催した。議案審議の他、我が国の医療問題、アジアのBOP市場と日本企業の戦略などについてゲスト講師や役員が問題提起し、出席者全員で活発な意見交換を行った。

正副会長、評議員会正副議長、各委員会正副委員長から構成する「運営幹部会」を9月と1月に開催し、各委員会の活動計画、2015年度事業計画・収支予算の大綱について審議した他、労働法制や中堅企業問題などについて意見交換した。1月の運営幹部会終了後、大阪経済記者クラブとの定例の懇談会を開催し、大坪会長をはじめ役員が出席の報道関係者と「KPC 定期調査」結果や2015年度事業計画などを中心に懇談した。

また、「総務政策委員会」は5月、11月、3月の計3回開催し、当本部の運営全般にかかわる事柄について審議するとともに、ストレス過剰時代の企業経営と労使の課題や女性を活かす職場づくりについての問題提起を受け意見交換をした。また8月には1泊2日で播州方面への視察会を開催し委員相互の交流にもつとめた。

5. 活動に対する会員の評価

当本部の様々な活動に対する評価は、事業ごとの参加者アンケートなどをはじめとして日常的に受けており、また、入会・退会あるいは個々の事業への参加・不参加という直接的な選択行動によっても評価されているが、これらに加えて役員・委員の方々を対象に毎年11月に「KPC 定期調査」を行ない、さらに毎年度末に「賛助会員アンケート」として全会員に活動の評価について聞いた。

「賛助会員アンケート」の結果、「高く評価している」が17%と昨年度から5ポイント低下した。また、「高く評価している」「評価している」の合計が73%と、昨年度から7ポイントダウンした。このトップ2の評価を高めていかないと存在感のある活動をしているとは言えない。「明日は今日より昨日より」の生産性の精神“改善魂”で、会員や社会にとってなくてはならない存在、つまり関西No.1の交流拠点を目指して、役員、会員の皆様のご指導とご支援を得て一層の活動の充実を図っていきたい。

「賛助会員アンケート」から

Q：2014年度、当本部は「未来を切り拓く、生産性運動推進リーダーの育成」・「労使の信頼と協力関係を基軸とした国づくり、活力ある組織づくり」・「経営品質の向上活動の推進と経営革新支援」・「モノづくり革新とモノづくり人材の育成」・「以上4つの活動の柱を支える当本部の基盤の充実と全国の生産性本部との密接な連携活動の推進」の5項目を事業の柱として、経営ビジョンである『生産性向上に関する関西No.1の交流拠点』となることを目指して、多様な事業を実施してまいりました。当本部が展開する各種事業活動をどのように評価いただいておりますか。

	2011年	2012年	2013年	2014年度
高く評価している	17%	21%	22%	17%
評価している	63%	57%	58%	56%
どちらともいえない	20%	22%	18%	25%
評価していない	0%	0%	0%	0%
全く評価していない	0%	0%	0%	0%
その他・無回答	1%	0%	2%	1%

調査対象：全会員組織を対象（2014年度 回答率29.3%）。

事 業 項 目

I. 経営革新	(実施日数)
中堅企業経営委員会	4
中堅企業研究会	10
第24期 K P C中堅企業「経営塾」	13
決断力セミナー	1
経営革新支援セミナー	5
経営研究会	10
ロジスティクス研究会	10
営業・マーケティング研究会	8
産業経理研究会	8
「技術経営」交流研究会	11
C S R・コンプライアンス研究部会	8
ビジネスロー・フォーラム	12
法人税研究講座	22
法人税特別セミナー	1
営業基礎力強化セミナー	4
産学フロンティア会議	3
関西経営品質協議会	—
・幹事、企画実践委員会	1
エグゼクティブ・コンファレンス	4
K Q Cフォーラム	6
アセスメントコース	12
セルフアセッサー認定更新研修	6
経営イノベーション・フォーラム2014 (2013年度 関西経営品質賞 報告会)	1
関西経営品質賞	—
1. 審査員研修	1
2. 賞審査	49
3. 賞制度企画委員会	1
4. 関西経営品質賞判定委員会	2
5. 関西経営品質賞委員会	1
経営品質・組織革新サーベイ	—
経営品質トップセミナー	3
経営品質セミナー	4
神戸大学大学院「戦略マネジメント特殊研究」講座	13
神戸大学経営学部 経営トップ講座「経営品質賞受賞企業に学ぶ経営革新」	15
関西インダストリアル・エンジニアリング (I E) 協会	—
・幹事会	1
・正副会長スタッフ会議	1
・運営委員会	4
第55回 全国 I E 年次大会	3
・ (2014年度) 第55回全国 I E 年次大会」企画実行委員会	2
2015年度 関西モノづくり大会	—
・企画実行委員会	2
2014年度 関西5 S 大会	3
関西モノづくりフォーラム	4
会員誌『 I E レビュー』	—
製造業のための部下指導力向上研修	1
ものづくり人材の育成法セミナー	1
《“実践型”改善リーダー育成スクール》 “改善実践”入門セミナー	2
《“実践型”改善リーダー育成スクール》 “改善実践”基礎セミナー	2
《“実践型”改善リーダー育成スクール》 “改善実践”中級セミナー	3
工場長・製造幹部のための生産現場改革実践セミナー	1
5 S・見える化セミナー	1
生産現場のリーダー力強化セミナー	1
「なぜなぜ分析」活用による問題解決力向上セミナー	1
生産計画・工程管理力強化セミナー	1

実践不良ゼロへのアプローチセミナー	1
実践！ビデオ活用による「作業標準書作成」入門セミナー	1
事務オフィスのための 5S実践セミナー	1
加工・組立作業の品質向上セミナー	1
設計・製造品質の向上セミナー	1
“周辺視”目視検査法セミナー	2
生産現場研究会	5
香港生産性協議会クイック・レスポンス・マニュファクチュアリング調査田受け入れ	9
SPRINGシンポジウム2014 in 京都	1

II. ユニオン・イノベーション

(実施日数)

労働政策委員会	2
第25回 労働トップフォーラム	1
・企画実践委員会	7
労働組合研究会	7
ユニオン度診断システム	—
eユニオン・メニュー	—

III. 雇用開発・労使関係

(実施日数)

労使関係委員会	4
労使政策研究会	8
人事労務研究会	13
賃金基礎講座	4
第42回 西日本生産性会議2014	2
・事前打合せ会	2
・首脳者昼食懇談会	1
関西労使政策フォーラム	3
人事考課の基本スキル向上セミナー	1
メンタルヘルス研究会	8
キャリア・コンサルタント養成講座	12
キャリア・コンサルタント資格試験・資格更新研修	6
キャリア・クロス会	12
要員管理と総額人件費マネジメントセミナー	1
65歳継続雇用時代の賃金制度改革セミナー	1
被評価者研修の進め方セミナー	1
労働法研究会	12
労働法基礎講座	4
2015年版活用労働統計発表会	1
労使交渉と統計活用特別セミナー	1

IV. 人材育成

(実施日数)

人材開発委員会	5
内外のトップを囲む懇談会	9
第36期 経営幹部交流セミナー	34
関西経営幹部交流懇談会 (MEST)	222
KPCマネジメントスクール2014 (全体)	3
・PTA会	1
KPCマネジメントスクール「経営戦略コース」	15
KPCマネジメントスクール「経営人事イノベーションコース」	17
KPCマネジメントスクール「マーケティングコース」	15
KPCマネジメントスクール「技術・イノベーションマネジメントコース」	19
KPCマネジメントスクールフォローアップ研修	15
第50期 グローバルマインド養成講座	10
第12回 アジア・ビジネススクール	10
第12回アジア・ビジネススクール実施報告会・フォローアップ会	1
人材開発研究会	13
厚生労働省ビジネス・キャリア検定認定講座 (通信講座)	—
インテリジェントアレー撰壇塾	20
教育研修用視聴覚・ビデオ販売	—
入社前研修 (通信教育)	10

新任マネージャーベーシックコース	2
職場リーダー基礎コース（旧：係長・主任基礎コース）	6
管理者基礎コース	6
研修総点検セミナー	1
上手な「ほめ方」・「叱り方」講座	1
ロジカルシンキング研修	1
ロジカルプレゼンテーション研修	1
女性リーダー交流フォーラム	7
関西キャリア教育支援協議会	28
アジア・グローバル人材教育調査団	18
アジア・グローバル人材教育調査団 報告会	1
企業内”実践型”研修セミナー	1
企業内「組織開発（OD）」推進者養成コース	7
企業内「組織開発（OD）」推進者養成コースフォローアップ研修	2
訪米組織開発調査団フォローアップ研修	2
学校経営・イノベーション研究会	7
多様な人材の能力を活かす“組織力向上”セミナー	1
AI体験セミナー	1
AI組織開発基礎コース	4

V. 診断指導・受託

(実施日数)

経営診断・指導	56
企業内教育訓練受託	122
経営品質向上支援受託	22
労働組合受託	14

VI. 会員交流・広報

(実施日数)

関西生産性大会2014	1
賛助会員集会「KPCフォーラム」	4
機関誌「KPCNEWS」	—
第27回 KPC定期調査	—
KPC賛助会員アンケート	—
21世紀全国生産性フォーラム	1
情報化シンポジウム・イン・関西	1
全国機関紙「生産性新聞」（発行元：(公財)日本生産性本部）	—
生産性手帳販売	—
各種刊行物など	—
関西学院大学「生産性講座」	15
大阪市立大学「生産性講座」	13

VII. 運営

(実施日数)

理事会	2
評議員会	2
顧問・参与	—
運営幹部会	2
大阪経済記者クラブとの懇談会	1
総務政策委員会	5

合計

1198日